二十三　緩和ケア診療加算の施設基準等

(1)　緩和ケア診療加算の施設基準

イ　緩和ケア診療を行うにつき十分な体制が整備されていること。

ロ　当該体制において、緩和ケアに関する研修を受けた医師（歯科医療を担当する保険医療機関にあっては、医師又は歯科医師）が配置されていること（当該保険医療機関において緩和ケア診療加算を算定する悪性腫瘍、末期心不全、末期呼吸器疾患又は末期腎不全の患者に対して緩和ケアを行う場合に限る。）。

ハ　がん診療の拠点となる病院若しくは公益財団法人日本医療機能評価機構等が行う医療機能評価を受けている病院又はこれらに準ずる病院であること。

(2)　緩和ケア診療加算の注２に規定する厚生労働大臣が定める地域

別表第六の二に掲げる地域

(3)　緩和ケア診療加算の注２に規定する施設基準

イ　一般病棟入院基本料（急性期病院Ａ一般入院料、急性期病院Ｂ一般入院料（看護・多職種協働加算に係る届出を行っているものに限る。）、急性期一般入院料１及び急性期一般入院料４（看護・多職種協働加算に係る届出を行っているものに限る。）を除く。）を算定する病棟を有する病院（特定機能病院及び許可病床数が四百床以上の病院並びに診療報酬の算定方法第一号ただし書に規定する別に厚生労働大臣が指定する病院の病棟を有する病院を除く。）であること。

ロ　緩和ケア診療を行うにつき十分な体制が整備されていること。

ハ　当該体制において、緩和ケアに関する研修を受けた医師（歯科医療を担当する保険医療機関にあっては、医師又は歯科医師）が配置されていること（当該保険医療機関において緩和ケア診療加算を算定する悪性腫瘍、末期心不全、末期呼吸器疾患又は末期腎不全の患者に対して緩和ケアを行う場合に限る。）。

ニ　がん診療の拠点となる病院若しくは公益財団法人日本医療機能評価機構等が行う医療機能評価を受けている病院又はこれらに準ずる病院であること。

(4)　個別栄養食事管理加算の施設基準

イ　緩和ケアを要する患者の個別栄養食事管理を行うにつき十分な体制が整備されていること。

ロ　当該体制において、緩和ケアを要する患者に対する個別栄養食事管理に係る必要な経験を有する管理栄養士が配置されていること。

二十三の二　有床診療所緩和ケア診療加算の施設基準

(1)　緩和ケア診療を行うにつき十分な体制が整備されていること。

(2)　当該体制において、緩和ケアに関する経験を有する医師（歯科医療を担当する保険医療機関にあっては、医師又は歯科医師）及び緩和ケアに関する経験を有する看護師が配置されていること（当該保険医療機関において有床診療所緩和ケア診療加算を算定する悪性腫瘍又は末期心不全の患者に対して緩和ケアを行う場合に限る。）。

(3)　(2)の医師又は看護師のいずれかが緩和ケアに関する研修を受けていること。

(4)　当該診療所における夜間の看護職員の数が一以上であること。

二十三の三　小児緩和ケア診療加算の施設基準

(1)　小児緩和ケア診療加算の施設基準

イ　十五歳未満の小児患者に対する緩和ケア診療を行うにつき十分な体制が整備されていること。

ロ　当該体制において、緩和ケアに関する研修を受けた医師（歯科医療を担当する保険医療機関にあっては、医師又は歯科医師）が配置されていること（当該保険医療機関において小児緩和ケア診療加算を算定する悪性腫瘍又は末期心不全の患者に対して緩和ケアを行う場合に限る。）。

ハ　がん診療の拠点となる病院若しくは公益財団法人日本医療機能評価機構等が行う医療機能評価を受けている病院又はこれらに準ずる病院であること。

(2)　小児個別栄養食事管理加算の施設基準

イ　緩和ケアを要する十五歳未満の小児患者の個別栄養食事管理を行うにつき十分な体制が整備されていること。

ロ　当該体制において、緩和ケアを要する患者に対する個別栄養食事管理に係る必要な経験を有する管理栄養士が配置されていること。

二十四　精神科応急入院施設管理加算の施設基準

(1)　精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和二十五年法律第百二十三号）第三十三条の六第一項の規定により都道府県知事が指定する精神科病院であること。

(2)　精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第三十三条の六第一項及び第三十四条第一項から第三項までの規定により入院する者のために必要な専用の病床を確保していること。

二十五　精神病棟入院時医学管理加算の施設基準

(1)　医療法施行規則第十九条第一項第一号の規定中「精神病床及び療養病床に係る病室の入院患者の数を三をもつて除した数」を「精神病床に係る病室の入院患者の数に療養病床に係る病室の入院患者の数を三をもつて除した数を加えた数」と読み替えた場合における同号に定める医師の員数以上の員数が配置されていること。

(2)　当該地域における精神科救急医療体制の確保のために整備された精神科救急医療施設であること。

二十五の二　精神科地域移行実施加算の施設基準

(1)　精神科を標榜する保険医療機関である病院であること。

(2)　当該保険医療機関内に地域移行を推進する部門を設置し、組織的に地域移行を実施する体制が整備されていること。

(3)　当該部門に専従の精神保健福祉士が配置されていること。

(4)　長期入院患者の退院が着実に進められている保険医療機関であること。

二十五の三　精神科身体合併症管理加算の施設基準等

(1)　精神科身体合併症管理加算の施設基準

イ　精神科を標榜する保険医療機関である病院であること。

ロ　当該病棟に専任の内科又は外科の医師が配置されていること。

ハ　精神障害者であって身体合併症を有する患者の治療が行えるよう、精神科以外の診療科の医療体制との連携が取られている病棟であること。

(2)　精神科身体合併症管理加算の注に規定する厚生労働大臣が定める身体合併症を有する患者

別表第七の二に掲げる身体合併症を有する患者

二十五の四　精神科リエゾンチーム加算の施設基準

精神疾患に係る症状の評価等の必要な診療を行うにつき十分な体制が整備されていること。

二十五の五　精神科慢性身体合併症管理加算の施設基準

(1)　精神科を標榜する保険医療機関である病院であること。

(2)　当該病棟に内科の医師が配置されていること。

(3)　精神障害者であって身体合併症を有する患者の治療を行うにつき十分な体制を有していること。

二十六　強度行動障害入院医療管理加算の施設基準等

(1)　強度行動障害入院医療管理加算の施設基準

強度行動障害の診療を行うにつき必要な体制が整備されていること。

(2)　強度行動障害入院医療管理加算の対象患者

強度行動障害スコアが十点以上かつ医療度スコアが二十四点以上の患者